3. まとめ

行財政改革実施計画の進捗状況は、平成19年度の目標効果額に対する達成率で見ると全体で195.3%となっており、計画を上まわっています。

行財政改革では行政コストを削減するだけでなく、事業によっては強化する事業もあります。行財政改革により削減した財源を、行政の重点課題に取り組む財源に充ててまいります。

今後についても、それぞれの分野で連携を取りながら、迅速かつ計画的に取り組んでまいります。

*平成20年度重点施策

(単位:千円)

項目	事業費	一般財源	内容
子育で支援の充実	3,651	3,651	放課後児童クラブ施設整備
	8,150	4,070	放課後児童クラブ運営費
	69,308	12,308	子育て支援センター整備
	1,900	653	子育て支援センター指定管理委託料
	263	263	病児一時預かり事業
	4,374	4,374	育児用品助成事業
母子保健事業	56,584	29,024	乳幼児及び児童医療費給付の充実
	3,175	1,588	こんにちは赤ちゃん事業
	526	394	新生児聴覚検査事業
	9,229	9,229	妊婦健康診査の充実
	1,350	1,350	妊産婦歯科健康診査費用助成事業
情報通信施設	40,134	788	移動通信用鉄塔整備
合 計	198,644	67,692	

お問い合わせ:鏡野町役場総合政策室(☎0868-54-2983)

施策評価シートの公表

鏡野町ではわかりやすく透明性の高い行政運営を実現するため、行政評価システムを導入することとし、 現在、施策評価・事務事業評価に取り組んでいます。

評価結果は事務事業の見直し、予算編成に反映させる予定です。

現在は試行中ですが施策評価表(平成19年度振り返り、総括)を下記のとおり公表しています。 平成21年度からは事務事業評価についても公表する予定です。

〈公表の方法〉・鏡野町ホームページ(総合政策室のページをご覧ください。)

・各振興センター及び本庁総合政策室での縦覧

※施策評価とは

鏡野町総合計画では、基本構想で5つの柱(基本項目)を定め、その下に15の政策を定めています。 各政策目標を達成するため政策ごとに目的を設定し事業を進めています。この目的を施策と言っています。 施策がどのような成果をあげているかを振り返り、総括することを「施策評価」といいます。

〈具体的な施策名〉健康づくりの推進、農業の振興など

※事務事業とは

各施策の目標を実現するためいろいろな事業を行っています。この事業を「事務事業」と言います。 この事務事業の目的の妥当性、有効性、効率性、公平性などについて評価することを「事務事業評価」 といいます。

鏡野町では約1,000の事務事業があります。

〈具体的な事務事業名〉健康相談事業、農地・水・環境保全向上対策事業など